

実験動物(齧歯類)を用いる胎児期曝露の次世代影響の研究概要

研究の進め方:

- *ダイオキシンの経胎盤・経母乳曝露後、発育中あるいは成熟後に *in vivo* で生じる毒性・生体反応の表現型の同定とその発症条件を踏まえ、標的分子を絞り込む
- *「胎児(仔)期起源の成人疾患モデル」を想定

毒性の表現型:

生殖器官・内分泌機能、学習・記憶機能、脳の性分化、性成熟、免疫機能

曝露実験の共通プロトコール

ダイオキシンの投与 (妊娠期の特定日に投与)

